

ノウハウを使わずに
共通のイメージを使って
誰もが楽しめる




EMOCATIONの未来

将来、RFID技術の発達により、身の回りのあらゆるものにRFIDタグが埋め込まれ、いつでも自分の状況や気持ちを身の回りのものを使って伝え合うことができるようになっていくと考えた。



天気という共通イメージを利用

人の生活になじみの深い天気を利用することでたくさんの方が理解できると考えた。
晴れは嬉しい、雨は悲しい、雷は怒りのイメージを感じると考えた。



インターフェース概要



イメージを選択してみんなで伝え合う

case 1 彼女とケンカしたとき



彼女とケンカをしてしまい落ち込む今くん
誰か慰めてくれないかなあ…と雨のプロジェクトで悲しい気持ちを表現
太陽オブジェクトを使って今くんを励ます

case 2 嬉しいことがあったとき



のろける今くんを冷めた目で見るとみんな
のろけごろたっぷりで太陽オブジェクトをかざし、EMOCATIONの画面を明るくする
『調子乗りすぎ!』と友達がツッコミとして雷を落とす